

## ピロリ菌



### 1 ピロリ菌って何？

ピロリ菌は正しくは「ヘリコバクター・ピロリ菌」といい、胃の粘膜に住み着く細菌です。胃には強い酸(胃酸)があるため、昔から細菌はいないと考えられてきましたが、ピロリ菌は自らアルカリ性のアンモニアをつくり出して胃酸から身を守っているのです。

### 2 どのようにしてピロリ菌に感染するの？

ピロリ菌は主に乳幼児期に口から感染します。ピロリ菌の感染率は衛生環境と関係していると考えられており、若い人の感染率は比較的少ないですが、40歳以上では半数以上の方が感染しています。

### 3 ピロリ菌と胃炎や胃・十二指腸潰瘍との関係は？

現在、ピロリ菌は胃炎や、胃・十二指腸潰瘍などの原因と考えられています。また、胃潰瘍や十二指腸潰瘍は再発しやすい病気ですが、ピロリ菌を除菌することにより、大部分の潰瘍の再発が抑制されます。ピロリ菌に感染していて、胃潰瘍や十二指腸潰瘍がある場合には、除菌療法が勧められています。

### 4 ピロリ菌はどうやって除菌するの？

ピロリ菌の除菌療法は、以下の3種類の薬を同時に1日2回(朝、夕)、7日間続けて内服します。

- ランソプラゾール又はオメプラゾール(胃酸の分泌を抑える薬)
- アモキシシリン(抗生物質)
- クラリスロマイシン(抗生物質)

### 5 除菌療法の副作用は？

下痢、軟便や味覚異常などが起こることがあります。

### 7 他の注意点は？

- ピロリ菌が除菌されると、低下していた胃酸の分泌が正常に戻ってくるため、逆流性食道炎が起こることがあります。
- ピロリ菌以外にも、お酒やタバコ、鎮痛剤など一部のお薬、あるいは過度のストレスなどが潰瘍の原因となることがあります。日頃から暴飲暴食は避け、ストレス解消にも心がけましょう。

### 6 治療の成功率はどれくらい？

正しくお薬を服用すれば、約90%の確率で成功します。自分の判断で服薬を中止すると、除菌に失敗して治療薬に耐性を持ったピロリ菌があらわれることがあるので、きちんと服用するようにしてください。

